

科目名		病理学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間	(1単位)	配当学年・時期	作業療法士科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
病理学をととして、病気になった原因を探り、患者の身体に生じた変化を見極める。									
〔授業全体の内容の概要〕									
病理学総論は、退行性病変、循環障害、炎症、腫瘍など、疾病に共通する病変を学ぶ。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
疾病の原因はどのようなもので、そのための組織にどのような変化を生じ、その結果どのような機能障害があらわれ、その機能回復にどのような支援が必要か、また、支援に伴うリスクを知る。									
回数	講義内容								
1	病理学とは								
2	病因論								
3	炎症と感染症								
4	腫瘍								
5	代謝異常・進行性病変・退行性病変								
6	循環障害・免疫								
7	老化・先天性異常								
8	免疫・病理学概論のふりかえり								
	定期筆記試験								

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
シンプル 病理学	笹野公伸 監修	南江堂

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする
